

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
基本目標1 地域における子育て支援体制を充実します				
個別目標1-1 子育て家庭に対する相談体制の充実				
◎	1 子・未来 保育サービスアドバイザーによる相談 【利用者支援事業】	多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談・助言を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～3月の相談件数は目標件数より約28%上回る7,057件であった。また、事業案内リーフレット(630部 本庁、キッズな、児童館)、両親学級用案内チラシ(750枚 地域健康課)、出張相談チラシ(2,480枚 特別出張所、キッズな、児童館、保育園、生活福祉課、洗足区民センター)を配布した。 ・保育サービスアドバイザーの出張相談を29回実施した。 	保育サービス課
◎	2 子・未来 子ども家庭支援センターの相談 【地域子育て支援拠点事業】	子どもや子育て家庭の抱える問題や不安、悩み、疑問など、あらゆることについて、相談員が相談に応じます。「子育てひろば」で子どもと過ごしながらかんたすることも可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数(ひろば相談含む)は10,205件(4月～3月)。 ・子育てひろば延べ利用者数は81,987人(4月～3月)。 	子ども家庭支援センター
◎	3 子・未来 児童館の子育て相談 【地域子育て支援拠点事業】	児童館で子育て全般に関する相談に対応します。	<p>情報提供を含む子育て相談の充実を図るため、来館者に声かけなどを実施し来館、相談しやすい環境を整備した。</p> <p>(学童保育施設での相談を含む) 相談(情報提供を含む)件数 17,580件 (H28.2月末現在) 実施施設数 84施設</p>	子育て支援課
◎	4 子 保育所の子育て相談 【地域子育て支援拠点事業】	認可保育所で、来所または電話による育児相談を行い、地域の子育てを支援します。	<p>認可保育所で地域の保護者等に対して、保育の経験を活かした子育てのアドバイスを行った。</p> <p>相談件数 ・区立保育園 241件</p>	保育サービス課
◎	5 私立幼稚園における子育て相談	子育て全般に関する相談に応じています。(全体会や個別対応など)	実績なし	教育総務課(私学行政担当)
◎	6 子 地域健康課の相談 【地域子育て支援拠点事業】	随時、子どもや家庭の抱える健康上の問題について医師、保健師、栄養士、歯科衛生士が、面接・電話や家庭訪問などで相談に応じます。	保健師による訪問や保健師、栄養士、歯科衛生士による電話・面接(延人数) 6,942人	各地域健康課
	7 家庭相談・女性相談	<ul style="list-style-type: none"> ①夫婦・親子関係や結婚、離婚、相続、扶養などの家庭内の悩みや心配ごとの相談 ②母子家庭等および寡婦の経済上の問題・児童の就学などに関する相談 ③緊急の保護やパートナーの暴力などに関する相談 	<p>4生活福祉課に担当職員、非常勤職員を配置し、必要な支援を実施</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①408件 ②7,082件 ③780件 	各生活福祉課
	8 幼児教育相談	幼稚園児、保育園児、在宅児の保護者を対象とし、幼児教育に関する情報提供・相談事業を行います。	<p>来所相談 106件</p> <p>電話相談 109件</p> <p>訪問相談 46園(134人)</p>	幼児教育センター

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
9	教育相談	子どもの性格・行動・生活・友人関係・学習や進路等の悩みについて、電話や面接による相談に応じます。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問、保護者からの電話相談、保護者・児童生徒の来室相談等を通し、学校不適應の解消等を目指した相談を実施した。相談に当たっては学校並びにスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して行った。 ・学校訪問 年3回 ・来室相談 2,839件 ・電話相談 3,006件 ・スクールソーシャルワーカーの対応 1,430件 ・適応指導教室での相談 417件 	教育センター
10	就学相談	関係機関(特別支援学校、こども発達センターわかばの家、医療機関等)との緊密な連携のもと、お子さんの障がいの種別や程度に応じて、一人ひとりの力をより伸ばす教育環境への就学や転学・通級の相談に応じます。	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談件数 小学校287件・中学校93件 合計380件 ・転学・通級相談 小学校473件・中学校14件 合計487件 (小学校の内、354件が28年度より全小学校で実施するサポートルーム利用の可否を判定するものである。) 	教育センター

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標1-2 子育て情報の充実				
◎ 1 (再掲)	子未来 保育サービスアドバイザーによる相談 【利用者支援事業】	多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談・助言を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～3月の相談件数は目標件数より約28%上回る7,057件であった。また、事業案内リーフレット(630部 本庁、キッズな、児童館)、両親学級用案内チラシ(750枚 地域健康課)、出張相談チラシ(2,480枚 特別出張所、キッズな、児童館、保育園、生活福祉課、洗足区民センター)を配布した。 ・保育サービスアドバイザーの出張相談を29回実施した。 	保育サービス課
2	子育て応援サイトの運営	インターネットによる子育て情報の提供を充実させるため、子育てに関する地域密着サイトを運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ほっとカフェ事業の廃止による子育て応援サイト統合のための準備(記事の選定やレイアウトの構想)を行った。 年間合計 525,606件 最高値 50,255件/月(27年6月) (パソコン版、モバイル版の合計値) 	子育て支援課
3	子育てハンドブックの作成・配付	子育ての不安や悩みが少しでも解消できるように、育児のアドバイス、大田区の子どもや子育てに関する事業を掲載した手引書を作成・配布します。	発行部数12,000部	子育て支援課
4	児童館子育て講座	子育てに有益な知識を得られる講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> (平成27年度開催状況) 開催回数 53回 参加人数 児童1383人 大人1410人 計2793人 	子育て支援課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課	
個別目標1-3 子育て家庭の地域交流の促進					
◎	1	子ファミリールーム 【地域子育て支援拠点事業】	児童館等を子育ての交流の広場として乳幼児親子に提供し、情報交換や仲間作りを進めます。	乳幼児親子が気軽に利用できる施設。 58施設 261,742組	子育て支援課
◎	2	子子育てひろば 【地域子育て支援拠点事業】	親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所です。子育ての情報を提供し、親子での交流を進めます。	・利用者数 キッズな大森 25,602人 キッズな洗足池 15,720人 キッズな蒲田 24,782人 キッズな六郷 15,883人 合計81,987人	子ども家庭支援センター
	3	保育所の園庭開放	地域の子育ての拠点として認可保育所の園庭を乳幼児親子に提供し、情報交換や仲間づくりを進めます。	認可保育所で親子が気軽に立ち寄り遊べる場として園庭を開放し、情報交換や仲間づくりを図った。 園庭開放件数 ・区立保育園 252件	保育サービス課
	4	体験保育	家庭で育児をしている方に、親子で保育所での遊びや子ども同士の交流を体験する機会を提供します。	子どもの年齢や興味に沿った楽しい遊びや子ども同士のふれあいの体験を実施した。 体験保育件数 ・区立保育園 107件	保育サービス課
	5	地域の子育て支援	地域の中での育児グループ活動を支援します。	子育て支援部会、児童福祉部会、主任児童委員部会の3部会を中心に各18地区による子育て支援、親子交流活動を実施、または児童館の祭りへの参加や区乳幼児健診の補助等による子育て支援	福祉管理課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
◎ 個別目標1-4 子育てをサポートする地域のネットワークの充実				
◎ 1	子ファミリー・サポート・センター事業【ファミリー・サポート・センター事業】	育児の手伝いをしてほしい人(利用会員)と育児の手伝いをしたい人(提供会員)の両者を会員とし、援助活動により仕事と育児の両立や子育てする家庭の育児を支援します。	・会員数 提供会員 701人 利用会員 3,006人 合計 3,707人 援助活動数12,218件 提供会員養成講座実績 4回 修了者113人	子ども家庭支援センター
2	民生委員・児童委員協議会との連携	子育てに関する相談・虐待等に関する通報を受けて、地域と連携して課題を解決します。	子ども・子育てに関する相談件数 357件 要保護児童の発見の報告・仲介 54件	福祉管理課
3	子育てすくすくネット事業	児童館等を活用し、地域の子育て支援ネットワークの拡大を図ります。	地域の方々にすくすくネット員として登録していただき、児童館を中心に、子どもの話し相手、行事への参加、生活や登下校の安全見守り等の活動を行った。 (すくすくネット員登録状況) 53施設 908名 ※平成27年度末現在	子育て支援課
4	子育て力向上支援事業	子育てに悩む乳幼児を持つ親達が相互に学び合うグループを支援する人材(ファシリテーター)を養成し、親支援のためのプログラムを子ども家庭支援センターや児童館などで実施します。	・親支援グループワーク 実施回数 12回 参加者数118人 ・ファシリテーター養成講座 参加者数 区職員8人 区民4人 計12人	子ども家庭支援センター 子育て支援課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策	取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課	
基本目標2 仕事と子育ての両立を支援します				
個別目標2-1 保育サービス等の充実・整備				
◎ 1	子・未来 私立(認可)保育園の整備支援 【教育・保育の確保】	認可保育所の入所希望者の増加や待機児童の状況を踏まえ、多様なニーズに応える保育サービス基盤の拡充を進めるため、民間事業者による認可保育所の新規開設を支援します。	キッズガーデン大森駅前(大森北1丁目) 馬込ここわ保育園(南馬込1丁目) グローバルキッズ大森西園(大森西2丁目) の3か所を整備した。	保育サービス課
◎ 2	子未来 小規模保育所の拡充支援 【教育・保育の確保】	低年齢児の待機児解消を進めるため、民間事業者による定員19人以下の小規模保育所の新規開設や保育の質の向上を支援します。	保育ルームOhana大森西園(大森西3丁目) こどもが丘保育園雑色園(仲六郷2丁目) このえ鶴の木小規模保育園(鶴の木2丁目) このえ雑色小規模保育園(南六郷2丁目) こどもが丘保育園東矢口園(東矢口3丁目) チャレンジキッズ長原園(上池台1丁目) キャリー保育園田園調布(田園調布2丁目) 小鳩スマート保育所北馬込(北馬込2丁目) ディルーカ保育園新蒲田園(新蒲田1丁目) キッズラボ西馬込園(西馬込2丁目) 保育ルームOhana梅屋敷駅前園(大森西6丁目) の11か所を整備した。	保育サービス課
◎ 3	子未来 認証保育所の整備支援 【教育・保育の確保】	長時間保育や駅からの利便性などのニーズに応えるため、民間事業者による認証保育所の新規開設や保育の質の向上を支援します。	チャレンジキッズ北千束園(北千束2丁目) ヒューマンアカデミー蒲田保育園(西蒲田8丁目) ナーサリーベリーベア大森西(大森西3丁目) の3か所を整備した。	保育サービス課
◎ 4	子未来 定期利用保育事業の充実支援 【教育・保育の確保】	パートタイムなどの多様な就労形態や、ライフスタイルに対応した定期利用保育事業を推進します。	定期利用保育専用施設は計5施設において実施。延べ1,147人の受け入れを行った。	保育サービス課
◎ 5	子未来 家庭福祉員(保育ママ)制度の充実 【教育・保育の確保】	2歳未満の乳児を対象に、家庭福祉員(保育ママ)が、自宅又はグループ保育室で実施する保育事業を推進します。また、グループ保育室の整備を進めます。	・増加する保育ニーズに対応するため、平成28年1月1日に下丸子グループ保育室を開設(定員:家庭福祉員3人、受託児9人)した。 ・家庭福祉員に対して家庭福祉員基礎研修を開催(3日間コース2回、第1回9/19・20・26 参加者28人 第2回1/23・30・31 参加者24人)した。 ・区立保育園の嘱託医による受託児に対する定期健康診断を実施した。	保育サービス課
◎ 6	子 認定こども園 【教育・保育の確保】	民間事業者による認定こども園の新規開設を支援します。	(実績なし)	保育サービス課
◎ 7	子 事業所内保育所開設等の支援 【教育・保育の確保】	区内事業所の従業員が育児と仕事を両立できるよう事業所内保育所の開設等の企業の取り組みを支援します。	事業所内保育室の開設に向けた支援を行った。 支援した事業所 2事業所	保育サービス課
◎ 8	子 時間外保育 【時間外保育事業】	就労等で通常の開園時間を超えて保育を必要とする人に対応する時間外保育(延長保育)事業を実施します。	区立保育園 49園 月極利用児童 2,879人 スポット延長保育延べ利用児童 7,226人 私立保育園 55園	保育サービス課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
◎	9 子 一時預かり保育 【保育所等における一時預かり事業】	家庭において、緊急または一時的に保育が困難となった児童を、区内保育施設等で保育します。また、地域子育て支援拠点等で保護者の用事やリフレッシュ等に利用できる一時預かり事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ○認証・指定保育室(緊急保育) 延べ利用日数 1,823人 ○区立保育園(緊急一時保育) 延べ利用人数 136人 ○私立保育園(一時預かり事業) 1施設 延べ利用人数 2人 ○私立保育園(定期利用保育) 13施設 延べ利用人数 14,607人 ○私立保育園(緊急一時保育) 12施設 延べ利用人数 361人 ○小規模保育所 2施設 延べ利用人数 18人 ○キッズなルーム大森 3,285人 ○キッズなルーム六郷 1,029人 ○保育室サン御園 3,279人 	保育サービス課 子ども家庭支援センター
◎	10 子 病後児保育 【病児・病後児保育事業】	病気や怪我等により保育園等に通えない児童を、医療機関等に併設された専用スペース等で保育します。	事業委託施設数5施設(総定員29人)、利用児童数3,885人 利用実績内訳:病後児保育ルームアリエル(391人)、OCFC病後児保育室うさぎのママ(2,155人)、キッズメディカルステーション(861人)、病後児保育室ライオンのこどもべや(398人)、山崎こじか園(80人) 28.4月新規事業委託ろくごう病後児保育室へ開設準備補助を行う。	保育サービス課
◎	11 子 ショートステイ・トワイライトステイ 【子育て短期支援事業】	ショートステイ:宿泊型一時保育サービスを実施します。 トワイライトステイ:夜間一時保育サービスを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ:利用者延べ487人 ・トワイライトステイ:利用者延べ683人 ・送迎サービス:利用者延べ944人 	子ども家庭支援センター
◎	12 私立幼稚園預かり保育事業 【幼稚園における一時預かり事業】	私立幼稚園が実施する、在園児を対象とした預かり保育事業を支援します。	私立幼稚園43園で実施した。 前年度と比べて、始業前実施で4校、教育終業後実施で1校、冬季休業で2校、春季休業で1校、それぞれ実施校が増加した。	教育総務課(私学行政担当)
◎	13 未来 区立保育園の改築・改修	耐震診断結果に基づく耐震改修や、老朽化した保育園の改築・改修を進め、良好な保育環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ・東蒲田保育園の耐震改修工事について、3月に竣工した。 ・六郷保育園の改築について、3月に竣工し、5月に新園舎へ移転した。 ・仲六郷保育園の改築について、設計に着手した。 ・羽田保育園の改築について、10月に仮設園舎に移転し、3月に基本設計を完了した。 	子育て支援課 保育サービス課
◎	14 未来 区立保育園の拠点機能強化	地域の保育水準の向上のため、18の区立拠点園を中心として、家庭福祉員への訪問支援、認証保育所、小規模保育所等との交流保育、拠点園での公開保育研修など、保育連携推進事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭福祉員訪問支援は月に2回程度実施。訪問回数1,030回、来園支援260回 ・認証、小規模保育所、定期利用保育室交流訪問は2ヶ月に1回程度実施。訪問回数308回、来園交流290回 ・公開保育研修は20回実施。参加人数496人 ・地域保育施設会議年2回(36回)実施。参加人数449人 	保育サービス課
	15 休日保育	年末年始を除く日曜日、祝祭日に保護者が就労の為家庭で保育出来ない児童を、認可保育所で保育します。	認可保育所で休日保育を実施した。 休日保育件数 <ul style="list-style-type: none"> ・区立保育園 78件 ・私立保育園 123件 	保育サービス課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
16	年末保育	12月29・30日に保護者が就労等のため家庭で保育ができない児童を、認可保育所で保育します。	認可保育所で年末保育を実施した。 年末保育人数 ・区立保育園 195人	保育サービス課
17	休日デイサービス	日曜・祝祭日の日中における保育サービスを実施します。	・休日デイサービス:利用者延べ218人	子ども家庭支援センター
18	保育士確保対策	民間保育施設の保育士確保を支援します。	・就職フェア開催 大田区私立保育園連合会・大森ハローワークとの共催により開催した。 平成27年9月5日(日)区民ホールアブリコ ・宿舍借り上げ支援事業 保育従事職員用の宿舍借り上げを行う保育事業者に対し、借上げに係る費用の一部の助成を行った。 49事業所、242人分の助成	保育サービス課
19	保育士等研修の実施	区内の保育施設で従事する職員の専門知識・技術のスキルアップを図ります。 相談事業・サービス向上のための研修を実施します。	2230人参加。 内部講師(区立保育園長)による保育の基礎に関する研修、保育中の子ども同士のトラブル(かみつきや引っ掻き)に関する研修を実施。小規模、認証等の若い保育士の身近な保育の悩みに即した内容であり、参加者多数であった。	保育サービス課
20	第三者評価の実施	保育サービスの内容や質を公平な第三者機関により評価し、比較可能な情報として区民に提供します。	保育サービスの内容や質を公平な第三者機関により評価した。 実施施設数 ・区立直営保育園 6園 ・区立民営保育園 2園	保育サービス課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標2-2 仕事と子育ての両立を促す意識づくり				
◎	1 未来 女性のための相談	男女平等推進センターで女性のための相談を実施します。 働く女性のための相談では、職場での人間関係、雇用、セクシュアル・ハラスメント等に関する相談、適職相談、キャリアカウンセリングなど就職に関する相談を実施します。 こころの悩み相談では、対人関係、自分の生き方や性格、夫婦や親子関係に関する相談を実施します。	○働く女性のための相談及びこころの悩み相談を含む女性の悩みに広く対応する「女性のための相談」を実施(月～土・929件)した。	人権・男女平等推進課
◎	2 未来 ワーク・ライフ・バランスの啓発	ワーク・ライフ・バランスへの理解を深め、男性の家庭参画を促すため、男性のための日常的な家事や子育て参加支援の講座などを開催します。	○男性の家庭や地域への参画を促すため、以下の講座を実施した(回数・日付・参加者数) ・「中高年の男性向け講座」として、『男の生き方塾』を実施(5回、10/9・10/16・10/22・10/30・11/5、延89人)した。 ・「小学生と父親向け講座」として、『パパといっしょにワクワク体験』を実施(2回、7/26・8/2、延54人)した。 ・「乳幼児と父親向け講座」として、『パパの手で作る赤ちゃんのハッピータイム』を実施(3回、4/12・4/26・5/10、延200人)した。 ○ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を以下のとおり実施した。 ・6/27～28開催のエセナフォーラムにおいて、『家事男・イクメン・イク爺写真展』を開催(応募数13件)した。 ・区報「6/25人権特集号」にて、ワーク・ライフ・バランス普及啓発記事を掲載(発行部数210,000部、新聞折込み配布等)した。 ・6/22～25「男女共同参画週間展示」にて、企業向けのワーク・ライフ・バランスに関する情報(都補助金など)及び男性向け子育て情報などを展示した。 ・「企業向けワーク・ライフ・バランス講演会」として、『今こそ考えよう！優秀な人材の定着を目指して』を実施(2/1、参加者62人)した。 ・男女共同参画のための情報誌「バステル」115号(3月発行)にて、ワーク・ライフ・バランスに関する普及啓発記事を掲載した。	人権・男女平等推進課
	3 男女平等・男女共同参画に関する講演会やセミナー等の開催	男女共同参画に対する理解を深め、家庭や職場などあらゆる場で性別役割分担意識を解消できるよう、講演会やセミナー等を開催します。	○男女共同参画に対する理解を深め、あらゆる場における性別役割意識の解消を目的に以下の講演会、講座を実施した(回数・日付・参加者) ・講演会「落合恵子さんが語る『恋と結婚』男女をめぐる人生案内の歴史30年」を実施(1回、6/27、202人)した。 ・「女の生き方塾～女の節目につまずかないために～」を実施(5回、10/8・15・22・29・11/5、延86人)した。 ・「子育て中のあなたに贈るココロが笑顔になるマジカル・レッスン」を実施(8回、10/6・13・20・27・11/10・17・24・12/3、延145人)した。	人権・男女平等推進課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
4	男女平等に関する情報誌「パステル」の発行	男女平等・男女共同参画に関する情報の提供や、性別役割分担意識の解消に向けた意識づくりを図ります。	○男女共同参画情報誌「パステル」を以下のとおり発行した。 27年度より区直営の発行となり、フルカラーや著名人のインタビューを掲載するなど啓発効果の拡大を図った。 ・115号(27年夏号) 27年9月、7,000部発行 ・116号(28年春号) 28年3月、7,000部発行	人権・男女平等推進課
5	女性のエンパワーメントセミナーの実施	女性が様々な分野でチャレンジできるよう、潜在能力の引き出しとスキルアップを図り、再就職を支援する講座を実施します。	○再就職を望む女性に対し就労を促進することを目的に以下の講座を実施した(回数・日付・参加者) ・「子育て中の女性のための再就職準備講座」として、『働きたいママのための再チャレンジ応援ナビ』を実施(1回、6/25、参加者延18人)し、1名の就業に結びついた。 ・「再就職マインドアップ&パソコン実践講座」として、『女性のための再就職セミナー・お仕事復活ナビ』を実施(4回、7/13～7/16、参加者延58人)し、1名の就業に結びついた。 ・「育休中の女性向け講座」として、『育休ママのためのパワーチャージセミナー』を実施(4回、11/9・11/16・11/22・11/30、参加者延111人)した。	人権・男女平等推進課
6	「テクノプラザ」等による呼びかけ	子育てや女性の就労に対する理解を深め、支援する気運を盛り上げるため、記事を掲載します。	テクノプラザ等のPR媒体に女性の就労につながる情報を提供。また、就労促進イベントや相談事業において、求人企業・求職者のマッチングを行っている。 ・テクノプラザ(各6,300部発行):特集1回含む年6回で内職相談に関する記事を掲載 ・HP、おしごとナビ大田区掲載:通年 ・ヤングジョブクリエイションおおた2015:年1回(参加企業数30社 求職者398名) ・内職相談:通年(相談件数1,297件)	(公財)大田区産業振興協会
7	商業団体他産業団体への働きかけ	商業団体他産業団体の情報誌等への掲載を働きかけます。	大田区商店街連合会の各会合等の機会や、女性部会などの研修会等においても働きかけが実施できた。	産業振興課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策	取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課	
基本目標3 親と子どもの健康の確保及び増進を図ります				
個別目標3-1 親と子どもの健康の確保				
◎ 1	子未来 すこやか赤ちゃん訪問(新生 児・産婦訪問指導) 【乳児家庭全戸訪問事業】	すべての乳児家庭を生後4か月ま でに訪問し、乳児とその保護者の心身 の状況や養育環境を確認し、子育 て情報の提供を行います。	訪問人数5,838人/年(96.7%) 内指導人数5,495人/年(91.0%) 【おおた未来プラン庁議報告数】	健康づくり課 (各地域健康課)
◎ 2	子 妊婦健康診査 【妊婦健康診査】	妊婦健康診査の費用を14回まで、 超音波検査の費用を1回助成しま す。	1回目 6,155人 2回目以降 59,675件	健康づくり課
◎ 3	未来 両親学級	妊娠・出産・育児等の講義、沐浴実 習等を実施します。	実施75回 実施延数151回 参加実人数2587人 延人数3918人	各地域健康課
◎ 4	未来 子ども医療費助成事業	児童の医療費を助成し、児童の健 康の確保及び増進、保護者の経済 的負担の軽減を図ります。	子どもの健康を支えるため、乳幼児及び義務 教育就学児の医療費助成を実施しました。 ・助成件数:1,474,547件 ・医療費助成額(扶助費):2,749,033,819円	子育て支援課
◎ 5	未来 39歳以下区民健診	18歳以上39歳以下で、職場などで 健診を受ける機会のない方に対し、 健康診査を実施します。	健康診査 202回実施 受診者 3,019人	各地域健康課
◎ 6	未来 39歳以下基本健診	18歳以上39歳以下で、職場などで 健診を受ける機会のない方に対し、 健康診査を実施します。	18歳以上39歳以下の区民を対象に、7月1日 から12月31日まで健康診査を区内医療機関 で実施。 2,103人が受診しました。	健康づくり課
7	母子健康手帳の交付	妊娠の届出をした方に母子健康手 帳、母と子の保健バックを交付しま す。	各特別出張所において、届出のあった2,855 名に母子健康手帳、母と子の保険バックを交 付をした。 7,085部	健康づくり課 各地域健康課 特別出張所等
8	妊婦歯科健康診査	歯科医療機関に委託して歯科健診 を実施します。	受診者数 1,765人	健康づくり課
9	4か月児健康診査	乳児の健全育成を図るため健康診 査を実施、あわせて栄養・育児相談 を実施します。	受診者数 5,864人/年(受診率96.9%)	各地域健康課
10	6か月児健康診査	乳児の健康管理の向上のため健康 診査を実施します。	受診者数 5,404人/年(92.2%)	健康づくり課 各地域健康課
11	9か月児健康診査	乳児の健康管理の向上のため健康 診査を実施します。	受診者数 5,245人/年(89.5%)	健康づくり課 各地域健康課
12	1歳6か月児健康診査	育成指導及び措置を行うことで幼児 の健全育成を図るため健康診査・歯 科健診を実施、あわせて栄養・育 児・歯の相談を実施します。	受診者数 5,451人/年(受診率95.4%)	各地域健康課
13	3歳児健康診査	育成指導及び措置を行うことで幼児 の健全育成を図るため健康診査・歯 科健診を実施、あわせて栄養・育 児・歯の相談を実施します。	受診者数 5,149人/年(受診率95.2%)	各地域健康課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
14	乳幼児歯科相談	乳幼児歯科相談を実施します。 ①歯科健康教育 ②歯科健康相談 ③歯科経過観察健診 ④予防処置 ⑤保健指導	継続実施 ①1,045人 ② 442人 ③ 298人 ④ 603人 ⑤ 740人	各地域健康課
15	幼児歯科健康診査・う蝕予防	歯科医療機関に委託して歯科健診、フッ化物塗布を実施します。	受診者数 6,366人(うち、フッ化物塗布実施者数6,327人)	健康づくり課 各地域健康課
16	予防接種	予防接種法に基づき、各種ワクチンを医療機関に委託して行い、感染症の感染・発病を予防します。	BCG5,824人、DPT1期28人、DPT-IPV1期23,216人、DT2期2,954人、麻しん1人、MR1期5,645人、MR2期4,774人、日本脳炎1期15,832人、日本脳炎2期3,726人、単独不活化ポリオ638人、ヒブ23,201人、小児肺炎球菌23,261人、HPV45人、水痘11,090人	感染症対策課
17	乳幼児経過観察健康診査	小児科医による健診・指導が必要な乳幼児に健康診査を実施します。	受診者数703人/年	各地域健康課
18	育児学級等	保健師・栄養士・歯科衛生士等による育児・栄養・歯科指導を実施します。	実施回数126回 参加人数(保護者) 2566人	各地域健康課
19	養育医療給付	医療を必要とする未熟児に対する養育に必要な給付を実施します。	養育医療 実人数196人 延件数480件	健康づくり課 各地域健康課
20	育成医療費給付	身体の障がいのため手術を必要とし、治療効果が期待される18歳未満の児童に対し医療給付を実施します。	医療給付 実人数63人 延件数147件	健康づくり課 各地域健康課
21	地域(出張型)健康教育	地域の依頼により地域に出張して講習を実施します。	実施回数459回 参加人数11,498人	各地域健康課
22	栄養セミナー・栄養講習会等	健康的な食生活のための講習会を実施します。 「パパの」「ママの」クッキングスクールを実施します。	栄養セミナー 2回 89人 栄養講習会(一般) 2回 28人 パパのクッキングスクール 4回 31人 ママのクッキングスクール 5回 74人	各地域健康課
23	乳幼児保健指導	保健師・栄養士・歯科衛生士等による訪問・面接・電話等による育児等の相談を実施します。	保健師による訪問や保健師、栄養士、歯科衛生士による電話・面接(延人数) 6,942人	各地域健康課
24	栄養講習会(離乳食)	妊婦に対して離乳食の作り方の調理実習を実施します。	実施回数 16回 参加人数203人	各地域健康課
25	絵本との出会い事業	4か月健診で絵本セットを配布して、読み聞かせの支援や子どもの健全な発達を促します。	絵本セット6,316人に配布/年	健康づくり課 各地域健康課
26	子育てグループワーク(子育て支援事業)	心理相談員、保健師等とともにグループワークを行い、子育てを支援します。	実施実数 124回 延回数 152回 参加実人数 437人 延人数 1,038人	各地域健康課
27	育児グループへの支援	孤立しがちな母子等へ育児グループへの参加を促し、子育てを支援します。	実施回数 50回 参加実人数 748人 延人数 1,094人	各地域健康課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
28	学校との連携による健康教育 (みんなでよい歯のまちづくり)	学校との連携による歯科健康教育を実施します。	実施回数 152回 参加人数 4,470人	各地域健康課
29	みんなでよい歯のまちづくり	依頼により保育所や幼稚園などに出張し、歯科健康教育・健康相談を実施します。	実施回数 189回 参加者数4,478人	各地域健康課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標3-2 学童期・思春期の健康づくりの支援				
1	性感染症検査・相談	性感染症の血液検査と相談を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・梅毒・・・252件 ・クラミジア・・・248件 ・B型肝炎・・・245件 ・相談件数922件(来所518件、電話404件) 	感染症対策課
2	性感染症予防講演会	性感染症予防のための講演会を実施します。	H27年6月19日(金)区内区立中学校 対象:3学年生徒・教員・保護者 参加人数:167人	感染症対策課
3	エイズ相談・抗体検査	HIV抗体検査と相談を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV抗体検査・・・264件(※HIV即日検査11件含む) ・相談件数922件(来所518件、電話404件) 	感染症対策課
4	東京都薬物乱用防止推進大田地区協議会への支援	協議会が開催する小・中学生の薬物乱用防止ポスター・標語コンクールの優秀作品の表彰式、その他、薬物乱用防止キャンペーン活動の支援をします。	キャンペーン(池上駅前通5月・羽田国際線ターミナル7月・大森スポーツセンター2月・蒲田駅西口3月)標語・ポスター表彰(応募ポスター161点 標語2156点)	生活衛生課
5	精神保健に関する医師・保健師による相談	専門医や保健師による相談(来所、家庭訪問、電話等)を実施します。	精神科医師による相談:106回実施。 保健師による家庭訪問(延):1,594件実施。 保健師による所内相談(延):2,943件実施。 保健師による電話相談(延):13,173件実施。	各地域健康課
6	自殺総合対策の推進	関係機関による自殺総合対策協議会を開催します。	関係機関による自殺総合対策協議会を1回開催した。 ・教育相談 ・こども電話相談 ・メール相談「心の輪」(実績なし)	健康医療政策課 子ども家庭支援センター 保育サービス課 教育センター 指導課 他
7	精神講演会	毎年テーマを設定し、専門医等による講演を実施します。	4地域健康課で精神講演会を各1回実施した。	健康医療政策課 各地域健康課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標3-3 食育の推進				
1	保育園・学校の栄養士との連携	関係機関との情報交換等の連携と充実のため、連絡会(食育検討会)を実施します。	食育推進検討会 2回 食育フェア準備打ち合わせ会 1回	健康づくり課 各地域健康課
2	食育推進サポートのための在宅栄養士(会)との連携	グループ間の情報・意見交換で連携・協力し、活動の充実を図るための支援をします。	地域活動栄養士連絡会 11回実施 地域活動栄養士対象講演会 1回実施 パネルシアター 年20回実施 794人	各地域健康課
個別目標3-4 産科・小児医療の充実				
1	かかりつけ医の推進	両親学級、すこやか赤ちゃん訪問(新生児・産婦訪問指導)、健診等の機会ごとに近隣医を紹介し、かかりつけ医をもつことを勧めます。	両親学級参加者総数 3,918人 すこやか赤ちゃん訪問乳児訪問指導実人員 5,217人 4か月児健康診査受診者数 5,864人 これらの他に、おおた医療BOOK2016年版を医師会等が10万部発行。区が補助。これらの事業を通じてかかりつけ医の必要性をPRした。	健康医療政策課・ 各地域健康課
2	休日診療・休日準夜診療・土曜準夜診療	医師会委託で祝休日及び土曜準夜等の急病患者的の診療を実施します。	区内3医師会(休日準夜は2医師会)に事業を委託し、各医師会館内の診療所で実施。 休日診療所3か所 受診件数9,745件 休日準夜診療所3か所 受診件数4,585件 土曜準夜診療所2か所 受診件数2,059件	健康医療政策課
3	平日準夜小児初期救急診療	平日準夜における小児救急患者の初期救急医療を実施します。	東邦大学医療センター大森病院に事業を委託し、病院3号館内において、区内3医師会の協力により実施。 診療時間 午後8時～午後11時 診療実績 1,745人	健康医療政策課
4	歯科休日応急診療	休日における歯科応急診療医療を実施します。	区内2歯科医師会に事業を委託し、各歯科医師会館内の歯科診療所で実施。 診療所2か所 受診件数 777件	健康医療政策課
5	産科医療機関の設備整備費助成事業	産科分べん用のベット数の増加に対して助成を行い、区内で安心して子どもを産める環境を整備します。	(実績なし)	健康医療政策課
6	地域医療機関との協議会等の開催	医師会や医療機関と入院医療、周産期医療、小児医療等に関する検討・協議を行います。	大田区入院医療協議会1回 同役員会4回 大田区周産期医療検討委員会幹事会3回 大田区小児救急医療連携推進連携協議会1回	健康医療政策課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
基本目標4 子どもの生きる力を伸ばし、未来を担う人材を育成します				
個別目標4-1 豊かな心の育成・保幼小の連携				
◎	1	未来 適応指導教室「つばさ」	不登校状態の児童・生徒が早期に在籍校に復帰できるよう、保護者・在籍校と連携し、学習支援・集団での活動支援を行います。	教育センター
◎	2	未来 スクールカウンセラーの配置	都費のスクールカウンセラーを全小中学校に配置し、区費のスクールカウンセラーも全中学校と規模の大きな小学校、館山さざなみ学校、2つの中学校の相談学級、4つの適応指導教室に配置します。計画的にスクールカウンセラーの研修を実施し、学校内における相談体制の充実を図り、学校不適応状態にある児童・生徒及びその保護者、教員へのきめ細い支援を行います。	教育センター
◎	3	未来 学校支援地域本部(スクールサポートおおた)	学校の教育活動の一層の充実のため、地域全体で学校を支援する仕組みとして、学校支援地域本部(スクールサポートおおた)の充実を図ります。具体的な支援内容には、学習支援、部活動支援、環境整備、安全パトロールなどの活動があります。	教育総務課 指導課
◎	4	未来 小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実	義務教育を9年間の枠で考え、小中一貫による教育の視点に立った生活指導を充実させます。	指導課
◎	5	未来 職場体験活動の充実	勤労の尊さや意義を理解し、職業や進路の選択等に必要なる勤労観や職業観を身に付け、キャリア教育充実の観点から共に助け合って生きる人間としての生き方についての自覚を深め、将来の社会人として自立していくための態度を育成する教育を推進します。	指導課
	6	道徳授業地区公開講座	道徳の授業公開と保護者、地域住民との意見交換会を実施します。	指導課
	7	生活規範意識を高める教育	生活規範意識向上講座、規範意識を高めるための指導法等を実施します。	指導課 幼児教育センター
	8	幼児教育連絡協議会の設置	幼稚園・保育所・小学校等の連携・交流の機会を充実し、共通理解を深めます。	幼児教育センター

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
9	メンタルフレンドの派遣	不登校等の子どもを対象に、心理学や教育学専攻の大学生等をその家庭に派遣し、話し相手などの活動を通して学校生活への復帰を支援します。	・メンタルフレンドの延べ派遣回数 490回 (派遣している家庭数 6件 適応指導教室 8件 相談学級 2件)	教育センター
10	幼稚園教諭・保育士合同研修	幼稚園教諭・保育士の資質向上を図る研修を推進し、教諭・保育士一人ひとりの幼児理解を深めます。	・幼稚園教諭・保育士合同研修会 年5回開催 ・幼児期運動指導保育者養成研修会 年9回開催	幼児教育センター
11	保幼小の交流及び連携事業	体験を広げる子ども同士の交流を充実させるとともに、子どもの成長を一貫して支援するため、各教育機関の教職員同士の相互連携を図るための研修や情報共有を推進します。	・保幼小連携合同研修会 年9回開催 ・保幼小連携運動遊び指導者研修会 年1回開催	幼児教育センター 指導課
12	道徳教育の充実	道徳教育推進教師連絡会の開催、道徳指導資料の作成・配布等を通して道徳授業の充実を図ります。	国・都の状況を報告する道徳教育推進教師連絡協議会を開催した。 開催数 年3回 また、同協議会において委員会を設置し、道徳の指導資料を作成し、配布した。 配布先 全小学校	指導課
13	人権教育の推進	学校と家庭、地域が連携し、道徳授業地区公開講座の充実を図り、子どもたちの他者を尊重し、生命を尊ぶ心を育てるとともに、児童・生徒一人ひとりの自己肯定感や自己決定力を育成します。	道徳授業地区公開講座を開催した。 開催回数 年1回	指導課
14	子どもの心サポート月間の実施	6月と11月を「子どもの心サポート月間」と位置付け、区立小学校4年から中学校3年の児童・生徒を対象に学校生活調査(メンタルヘルスチェック)を実施し、その結果から必要に応じて個別面談等を行い、適切に組織的な対応をします。	「子どもの心サポート月間」(6月、11月)、学校生活調査(メンタルヘルスチェック)を実施した。 調査は年2回、小4～中3が対象	指導課
15	いじめ防止対策の充実	いじめ防止のための基本方針に基づき、教育委員会と学校が一体となって、未然防止、早期発見、早期対応等により、いじめを防止します。	各校において、いじめの認知、未然防止、早期発見、早期対応を目的とした学校いじめ対策委員会を開催した。	指導課
16	問題行動対策の充実	児童・生徒の問題行動に対して、専門的な力を有する経験豊かな人材を学校に派遣します。	児童・生徒の問題行動への対応を支援するために経験豊かな人材で組織した「問題行動対応サポートチーム」を学校に派遣し、支援を行った。	指導課
17	自然体験活動の実施	豊かな自然環境の中で、移動教室等を通じて自然に親しむとともに人々との交流を深め集団生活の在り方を体験するなど、心身ともに健全で調和のとれた人間の育成を推進します。	・伊豆高原ガイドブックの改訂を行った。 ・野辺山学園移動教室(中1)にて使用するガイドブック「自然を訪ねてのべやま」の全面改訂にあたり、方針を決定した。	学務課 指導課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標4-2 様々な交流を踏まえた人材育成				
1	保育園・児童館の児童と高齢者との交流	保育園、児童館の児童が高齢者と交流します。	交流件数 ・保育園 50件 ・児童館 58施設 特別養護老人ホームや老人いこいの家などを訪問し、交流を図った。	保育サービス課 子育て支援課
2	保育園・児童館への中高校生ボランティア活動の推進	中高生のボランティアを受け入れ、園児や児童との生活や遊びを通してふれあいの機会を持ちます。	小中高生のボランティアを受け入れた。 受入件数 ・保育園 245件 ・児童館 児童館のイベント開催時のボランティア活動の受入れ。 中高生 739名(中学生 31施設364名、高校生 19施設375名)	保育サービス課 子育て支援課
3	リーダー講習会 (小学校・中高生)	青少年向けリーダー講習会を実施します。 ①リーダー講習会(小学生対象) (※青少対会長会に事業委託) ②リーダー講習会(中学・高校生対象)	①リーダー講習会(小学生対象) ・大森・調布・蒲田の3地域で実施 (5月～12月、全8回) ・受講者数 291人 (大森 98人 調布 79人 蒲田 114人) ②リーダー講習会(中高生対象) 夏・冬の開催(全12回) ・受講者数 49人	地域力推進課
4	リーダー講習会 (成人)	指導者向けリーダー講習会を実施します。 ①自然体験キャンプセミナー ②青少年教育指導者セミナー I (リスクマネジメント) ③青少年教育指導者セミナー II (居場所)	①自然体験キャンプセミナー ・全3回 ・受講者数(指導者 13人 親子11組28人) ②青少年教育指導者セミナー I (リスクマネジメント) ・第1回「インターネットにハマる子どもたちの実態と対応」 受講者数:11名 ・第2回「広がるコミュニケーションツールと生活の変化 Part1」 受講者数:11名 ・第3回「広がるコミュニケーションツールと生活の変化 Part2」 受講者数:9名	地域力推進課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標4-3 親子のふれあいの場・体験機会の場づくり				
◎ 1 (再掲)	未来 職場体験活動の充実	勤労の尊さや意義を理解し、職業や進路の選択等に必要なる勤労観や職業観を身に付け、キャリア教育充実の観点から共に助け合って生きる人間としての生き方についての自覚を深め、将来の社会人として自立していくための態度を育成する教育を推進します。	【再掲】 中学校第2学年生徒を対象とした職場体験を実施した。 ・実施期間 平成27年6月9日～平成28年2月5日 ・体験生 3,612人 受入事業所1,312箇所	指導課
2	家庭・地域教育力向上支援事業	家庭や地域の教育力向上のため、PTAや自主団体に委託して、家庭や地域における子どもの教育に関わる講演会や学習会を実施します。	平成27年度支援団体数 29団体 (内訳 PTA14団体 自主活動団体15団体) うち保育付講座7講座 参加者数 1,506人 ・主な学習会テーマ 子どもたちの“決める力”を育もう 親から子へ伝えたい大切なこと 家族で大切にしていること など	教育総務課
3	子ども向け人材育成事業	工場見学とものづくり体験を通して、大田区のものづくり産業の意義とその魅力を知ってもらいます。また、親子で楽しむ「ロボット教室」やプログラミングロボットづくりなど、工業大学や産業技術高等専門学校等と連携したものづくり実践教室を実施し、ものづくりの楽しさを通じて、未来のものづくり人材を育成します。	①産業のまちスクール(産業のまち発見隊、対象:小学生) 7月22日 参加者:24組48名 8月25日 参加者:25組50名 ②ものづくり実践教室Ⅰ(親子で楽しむロボット作り教室、対象:小学4～6年生) 7月25、26日 参加者:100組200名 ③ものづくり実践教室Ⅱ(秋のロボット教室、対象:小学4～中学2年生) 参加者40名	産業振興課
4	家庭教育学習会 (学校デビュー応援プログラム)	子どもの小学校生活がより充実したものになるための家庭や親の役割について学習会を実施します。	次年度小学校入学予定児の保護者を対象に以下の事業を実施した。 ・夏期 「入学前の夏、親子で学校へ行こう」 小学校4会場(多摩川小・洗足池小・志茂田小・開桜小) 参加者数 114人 子ども教室(年長児対象)105人 保育32人 ・冬期 「楽しい小学校生活を応援するために ～家庭から学校へ 入学後の見守り～」 1会場(消費者生活センター) 参加者数 47人 子ども教室(年長児対象)11人 保育11人 ・『家庭教育リーフレット』6,500部作成・配付(就学時検診時)	教育総務課
5	大田区子どもガーデンパーティー	青少年対策地区委員会が中心となり、各会場実行委員会を組織し実施します。区内10会場でゲームや軽スポーツを楽しみながら、地域の人たちと一緒に活動する体験を通して、子どもたちが健やかに成長することを願って、地域ぐるみの協力を得て開催します。	・大田区内10会場で実施 ・参加者数 53,740人	地域力推進課
6	青少年健全育成 (青少年対策地区委員会)	地域における青少年健全育成活動を積極的に推進するため、青少年対策地区委員会への委託契約により地区活動事業を実施します。	・青少年対策地区委員会 18地区 1160人、 ・会長会 6回開催 ・ジュニアリーダークラブ 18地区	地域力推進課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
7	国際理解教育の推進	日本の伝統・文化や異文化を理解するとともに、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成や互いの人権を尊重する態度など、国際社会に貢献できる力を育成するための教育活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区外国語活動の実施(小学校1・2年生8時間、小学校3・4年生12時間) ・大田区立小学校イングリッシュキャンプの実施(参加者 小学校60校269名) ・外国語教育指導員の派遣(小1・2年8時間3・4年12時間5・6年25時間、中学校全学年10時間) ・英語カフェの実施(全校実施) ・大田区立中学校生徒海外派遣の実施(アメリカセーラム28名、ドイツブレーメン28名) 	指導課
8 (再掲)	自然体験活動の実施	豊かな自然環境の中で、移動教室等を通じて自然に親しむとともに人々との交流を深め集団生活の在り方を体験するなど、心身ともに健全で調和のとれた人間の育成を推進します。	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆高原ガイドブックの改訂を行った。 ・野辺山学園移動教室(中1)にて使用するガイドブック「自然を訪ねてのべやま」の全面改訂にあたり、方針を決定した。 	学務課 指導課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策	取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課	
個別目標4-4 子どもの居場所づくり				
◎ 1	子未来 小学生の居場所づくり (大田区版放課後子ども総合プラン) 【放課後児童健全育成事業】	【大田区版放課後子ども総合プラン】 学童保育事業と放課後子ども教室事業を一体型として、全ての区立小学校施設を活用した放課後児童の居場所として順次、実施します。 【学童保育事業】 就労等のために昼間保護者がいない家庭の児童(1年生から6年生)の健全育成を図ります。 【放課後子ども教室】 学校の施設を活用して、児童の放課後の安心・安全な居場所を実現し、児童の放課後の活動と交流を通じたプログラムを実施します。	・平成27年度開設 放課後ひろば(一体型)14施設 放課後ひろば(単独型)9施設 ・平成28年度開設準備 放課後ひろば(一体型)16施設 ※単独型から一体型への移行4施設、学童先行実施1施設を含む。 ・平成28年4月1日時点の開設数 放課後ひろば(一体型) 30施設 ※学童先行実施1施設含む 放課後ひろば(単独型) 5施設 学童保育通常利用(平成27年4月1日現在) 4,341名	子育て支援課 教育総務課
◎ 2	子 学童保育の延長保育、夏休み利用、一時利用 【放課後児童健全育成事業】	【延長保育】 就労などのために17時以降保護者がいない家庭の学童を対象に18時まで預かります。 【夏休み利用】 夏期休業日に保育を必要とする児童を預かります。 【一時利用】 家庭の都合により緊急に保育を必要とする児童を預かります。	【延長保育】 ・通常利用者数 2,128名(平成27年4月1日現在) ・夏休み利用者数 33名 【夏休み利用】 ・利用者数 352名 【一時利用】 ・延べ利用者数 8,988名 上記取組みを大田区内の全ての学童保育施設にて実施した。	子育て支援課
3	学童保育室での要支援児の受け入れ	小学校6年生までの支援が必要な児童の受け入れを全学童保育室で実施します。	全学童保育施設89箇所ですべて受入れ体制を整えている。 60施設 154名(平成27年4月1日現在)	子育て支援課
4	児童館の一般利用(自由来館)	小学生、中学生が自由に利用できる施設です。館内には図書室、工作室、遊戯室などがあります。	小学生の放課後の居場所として来館を促した。 55施設 461,587名	子育て支援課
5	児童館での中学生タイム	中学生の友好活動の場の提供およびメンタル面の支援をします。	中学生の友好活動の場として利用する。 50施設 16,102名	子育て支援課
6	公園・児童公園	乳幼児親子や小、中学生に遊びの場を提供します。	乳幼児親子や小、中学生の遊び場ともなる地域に根ざした公園緑地の整備を進めた。 【新設・拡張整備】 ・古川児童公園 ・道塚第三児童公園及び付属緑地 【公園改良整備】 ・仲蒲田公園 【遊具改修】 ・大森北公園、東調布公園、西六郷公園	都市基盤管理課 各地域基盤整備課
7	行事開放	土・日・休日にスポーツ、レクリエーションを通じて余暇の有効利用を図ります。	・当該校の児童が自由に参加できるスポーツ及びレクリエーションの場、土日祝日、学校休業日に、区立小学校の体育施設を開放した。各学校の承認種目ごとに指導員を配置して実施した。 ・実施校53校、実施回数延3,128回、利用人数延74,294人	教育総務課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
8	校庭等開放	児童の安全な遊び場として小学校の校庭を開放します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校にPTAの世話人を配置して校庭等を開放して子どもたちに自由で安全な遊び場を提供した。 ・放課後子ども教室実施校は、土日に、未実施校は土日及び平日の放課後に実施した。 ・実施校53校、開放日数延べ2,354日、利用人数73,420人 	教育総務課
9	スポーツ開放	日曜日に小学校の体育館を開放し、スポーツの動機づけを図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に管理員を配置し、各校ごとに運営委員会で種目を決めて実施している。 ・実施校26校、実施回数延687回、利用人数延15,189人(内小中学生は6,447人、対前年度比74.9%増) 	教育総務課
10	中高生の居場所づくり	中高生の居場所づくりや若者の社会活動を積極的に支援します。	中高生の居場所として大型施設2箇所を中心に利用を促した。 23施設 18,496名(内訳:中学生 50施設 16,102名、高校生 2,394名)	子育て支援課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
基本目標5 子育てにやさしいまちをつくります				
個別目標5-1 安全・安心なまちづくりの推進				
1	未来 LED街路灯整備の推進	区道に設置されている街路灯をLED化することで、夜間における視認性を高め、安全を確保します。	小型街路灯改良工事(LED) 平成27年9月～28年2月 3,730基 大型街路灯改良工事(LED) (試験設置) 平成27年8月～28年2月 137基	建設工事課
2	防災対応マニュアル・防災の手引き等	災害に備えて、児童館、幼稚園、保育所の各施設で防災の手引きの作成をしています。	作成済の「児童館子育て支援施設の安全対策～震災編～及び～危機管理編～」に基づき防災訓練を行った。 保育園福祉避難所・保育園応急保育のマニュアル作成に向けた防災PTを立ち上げた。	子育て支援課 保育サービス課
3	災害物品の備蓄	大規模災害に備え、区内すべての児童館、幼稚園、保育施設に3日分の水・食料を備蓄し、子どもたちの安全・安心を図ります。	各児童館の災害物品で有効期限があるものは期限の確認を実施し、合わせて災害備品の不足がないか確認を行った。 保育施設に3日分の水・食糧を備蓄している。	子育て支援課 保育サービス課
4	子育て世帯へのバリアフリー情報の提供	「おでかけマップ」の充実を図ります。	区施設のバリアフリー情報をホームページで公開している。(掲載施設:200件)	福祉管理課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標5-2 子どもを犯罪や交通事故から守るまちづくりの推進				
◎	1 未来 区民安全・安心メールサービスの運用	平成20年度から大田区では、安全安心のまちをつくるために、携帯電話やパソコンのメール機能を利用した区民安全・安心メールサービスを導入しました。このメールサービスにより、希望する保護者、施設管理者等へ不審者情報のメールを配信しています。	登録者増加のための取り組みとして、全戸配布を行った防災チェックリストに安全・安心メールの案内記事を掲載し、また防災講話の際に安全・安心メールの案内チラシを配布した。さらに、こどもSOSの家協力員にPRするなど加入促進を図った。 27年度末の登録者数は57,135人で26年度末から2,420人増となった。	防災危機管理課
◎	2 未来 こどもSOSの家による見守り活動の推進	子どもたちが犯罪などの被害に遭いそうになった場合の避難場所や気軽に相談できる場所としてSOSの家を設置しました。自治会・町会、PTA、学校、警察などの地域と連携した子どもの見守り活動を進めるとともに、子どもたちの健全育成を図ります。	・協力員数 2,358人(平成28年3月末) ・地域の取り組み事例を協力員に周知するため「こどもSOSの家通信(第1号)」を発行 ・セブンイレブンと協定締結(区内117店舗)	地域力推進課
◎	3 未来 公共空間での防犯カメラの設置	防犯カメラは、犯罪抑止力としての効果の側面から、地域の安全・安心なまちづくりに欠かせません。自治会・町会や商店街に対して、街頭防犯カメラの設置費用の一部として、区と都で補助金を支出しています。公園等の公共空間での犯罪抑止として防犯カメラの設置を促進するなど安全性を向上させます。	今年度防犯カメラの設置を予定していた4団体について、設置場所等を確認しながら、70台の設置を計画どおり進めた。	防災危機管理課
◎	4 未来 交通安全移動教室の開催	事故多発地点となっている交差点の交通ルールを模擬交差点(信号機・横断歩道マット持参)を使って指導することにより、幼児と車両との交通事故防止を図ります。	実施回数 86回 参加者数 5,030人	都市基盤管理課
◎	5 未来 交通安全自転車教室の開催	主として子どもを対象とし、交通公園の施設内で自転車の運転に関する交通ルールについて指導することにより、交通事故の防止及び交通マナーの向上を図ります。	実施回数 3回 参加者数 535人	都市基盤管理課
◎	6 未来「交通安全だより」の発行	保育園・幼稚園・小学校向け啓発用パンフレットを作成し、視覚を利用して交通事故防止を図ります。	幼稚園・保育園向け、小学校低学年向けに年3回、小学校高学年向けに年2回発行。 発行部数 幼稚園・保育園向け 67,500部 小学校低学年向け 45,900部 小学校高学年向け 29,500部	都市基盤管理課
	7 防犯教育・訓練の実施	小・中学校におけるセーフティ教室、保育園などでの不審者侵入を想定した訓練を実施します。	セーフティ教室と不審者対応の避難訓練を実施した。 実施校 区立小・中学校の全校	指導課
	8 学校と警察等の関係機関との情報交換の実施	学校だけでは解決の難しい非行等の問題行動に関し、必要な情報の連絡を行い、対策を講じます。	生活指導主任会等において、学校と警察等の関係機関との情報交換を実施	指導課
	9 小学生への防犯ブザーの貸与	児童の防犯対策の一環として、防犯ブザーを貸与し、区立小学校に通学する全児童が携帯します。	7月1日より防犯ブザーの給付対象を、区立以外の学校に通学している小学1年生にも広げ、児童の防犯対策の充実を図った。 防犯ブザー配付数 5,195個	学務課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
10	交通安全巡回指導	専任の交通安全指導員を2名配置し、児童に交通安全意識を身につけさせ、児童自身でその場の状況に応じた正しい判断ができるよう指導します。	①新一年生に対する交通安全指導(歩行訓練)58回 ②自転車教室47回 ③交通安全教室 小学校90回、中学校5回 ④下校指導49回 ⑤夏休み交通安全教室4回 ⑥夏休み自転車教室7回	教育総務課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標5-3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進				
◎	1 未来 少年の非行防止啓発活動	警察、地域、学校と連携した万引き防止運動や、非行防止教室等を実施するほか、少年等への非行防止のための周知活動や注意喚起を行います。不審者情報のメール配信や地域パトロール活動の充実等により、子どもが犯罪被害にあわないようにします。	区内の警察署と連携し、危険ドラッグ使用禁止キャンペーンにおいて啓発グッズを配布し、危険ドラッグの危険性に対する意識向上に努めた。 大田区生活展において、若者向けの振り込み詐欺防止啓発DVDを2日間にわたって上映し、啓発につなげた。	防災危機管理課
◎	2 未来 万引きしにくい環境づくり	警察、地域、学校と連携した万引き防止運動や、「万引きは犯罪である」旨の広報啓発活動を実施し、規範意識を高めていきます。万引き被害にあう商店・店舗も多いことから、商店・店舗に対して万引きしにくい店舗づくりの助言等の支援を行います。	非常勤職員による店舗に対する万引き防止講話を計画的に進め、さらに中学校の生徒へ啓発チラシを配布した。 平成27年の区内万引き被害件数は508件となり、全体での件数の減少(6件減)につなげた。	防災危機管理課
	3 青少年をめぐる環境浄化旬間及び青少年健全育成大会の実施による啓発活動の推進	毎年3月1日～10日までを強調旬間とし、広く区民に青少年健全育成の重要性を訴え、青少年を取り巻く社会環境の浄化に理解、協力を求めています。 区報、懸垂幕・立看板による啓発活動、有害図書等の自粛要請のほか、青少年健全育成大会を実施します。	①啓発活動 ・区報掲載 ・懸垂幕・立看板の掲出(地域庁舎、特別出張所、区内警察署、区立小中学校) ②販売自粛要請活動 ・3月1日～10日 ③青少年健全育成大会 ・平成28年3月6日(日) ・来場者数 423人	地域力推進課
	4 有害図書等対策の推進	青少年をめぐる環境浄化推進委員会と連携し、青少年に悪影響を及ぼす有害環境浄化のため、書店、コンビニエンスストア、レンタルビデオ店、成人向け雑誌・ビデオソフト等販売店に対し、自粛要請活動を行います。	販売自粛要請活動 ・3月1日～10日	地域力推進課
	5 青少年をめぐる環境浄化委員会への支援	青少年の健全な育成を妨げる有害環境を浄化し、青少年にとっての良質な環境を醸成するため、必要な支援を行います。	総会(全2回) ・第1回講演「最近の少年非行の現況・青少年をめぐる諸問題について」 ・第2回講演「ネット等の性被害にあわないために」	地域力推進課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
基本目標6 特に支援を必要とする子どもと家庭をサポートします				
個別目標6-1 ひとり親家庭への支援				
1	児童扶養手当	父または母と生計を同じにしていない児童が育成される家庭の、生活の激変を一定期間緩和し、自立の促進に寄与することを目的に支援を行います。	27年度末現在 受給者数 3,873人 対象児童 5,573人 児童扶養手当支給額;1,754,974,430円	子育て支援課
2	児童育成手当	児童の福祉の増進を図ることを目的とし、児童の心身の穏やかな成長に寄与することを趣旨として支援します。	27年度末現在 受給者数 5,577人 対象児童 7,726人 児童育成手当支給額;1,292,757,000円	子育て支援課
3	ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ることを目的に、医療費の自己負担の一部を助成します。	27年度末現在 受給者数 3,299人 受給者数 7,989人 医療費助成額;189,836,762円	子育て支援課
4	母子生活支援施設(区立ひまわり苑・コスモス苑)	施設において母子が健康で明るい生活ができるよう援助・助言し、自立への支援を図ります。	(利用者状況)※平成27年度末現在 ・ひまわり苑 世帯数 17世帯 (※母親17人 小学生5人 未就学児18人) ・コスモス苑 世帯数 14世帯 (※母親14人 高校生1人 中学生1人 小学生4人 未就学児12人)	子育て支援課 各生活福祉課
5	ひとり親家庭の相談	ひとり親に関する施策の案内や、生活についての相談を実施します。	4生活福祉課に担当職員を配置し、必要な支援を実施 【実績】 6,189件	各生活福祉課
6	母子(女性)緊急一時保護事業の実施	家庭内のトラブルで、緊急に保護が必要な時、一時的な生活の場を提供します。	緊急を要する女性や母子の一時保護 【実績】101件	各生活福祉課
7	ひとり親家庭ホームヘルプサービス	ひとり親家庭で、一時的な事情により日常生活等の援助が必要な場合、ホームヘルパーを派遣します。	家政婦紹介所等の登録ホームヘルパーを、1日2回以内、月50時間を限度として派遣 【実績】 7世帯 247時間	各生活福祉課
8	母子及び父子福祉資金貸付	母子家庭または父子家庭が経済的に自立した生活を送るために必要な資金の貸付(転宅資金、修学資金、就学支度資金、事業開始資金、等)を実施します。	転宅資金、修学資金、就学支度資金、事業継続資金等貸付 【実績】313件 <内訳>・母子 308件 ・父子 5件	各生活福祉課
9	母子家庭及び父子家庭自立支援給付金事業	母子家庭の母等の就労を支援するため、職業能力開発のための講座受講や国家資格取得のための修業期間中に給付金を支給します。	自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金の支給 【実績】 自立支援教育訓練給付金 1件 高等職業訓練促進給付金 8件	各生活福祉課
10	高齢者等住宅確保支援事業	住宅に困窮するひとり親世帯の民間住宅への入居を支援するために、相談を受けて助言を行い、必要があれば、不動産業界団体へ住宅の紹介を依頼します。また、入居時に必要な火災保険料や保証料等も所得制限を設けて一部助成しております。	新たに「住宅の住み替えにお困りの方へ」「保証人が見つからない方へ」の2種類のパンフレットを色上質紙を用いて作成し、窓口の目立つ所に設置。また、高齢福祉課、介護福祉課、障害福祉課、各生活福祉課でも窓口設置を依頼して広報に努めた。 実績:1件(ひとり親世帯)	建築調整課
11	大田区高齢者世帯等転居一時金助成制度	取り壊し等のため民間の賃貸住宅から別の民間住宅に転居が必要となった、現に児童扶養手当を受給しているひとり親家庭に対して、転居に必要な礼金・権利金、仲介手数料を助成します。	新たに「高齢者世帯等転居一時金助成事業について」のパンフレットを色上質紙を用いて作成し、窓口の目立つ所に設置。また、高齢福祉課、介護福祉課、障害福祉課、各生活福祉課でも窓口設置を依頼して広報に努めた。 実績:1件(ひとり親世帯)	建築調整課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標6-2 児童虐待の予防及び被虐待児と家庭への支援				
◎	1 子未来 養育支援訪問事業 養育支援家庭訪問事業「ゆりかご」 【養育支援訪問事業等】	【養育支援訪問事業】 養育を支援することが特に必要な家庭に対し、養育に関する相談、指導助言等の支援を行い、児童虐待を未然に防止します。 【ゆりかご】すこやか赤ちゃん訪問事業と連携し、養育に不安を抱える乳児家庭に対して地域の支援員等が訪問し支援します。	【養育支援訪問事業】 実績:23世帯 延べ275回 【ゆりかご】 利用者:144人 延べ163回	子ども家庭支援センター
◎	2 未来 児童虐待防止ネットワークの充実	要保護児童対策地域協議会(代表者会議・実務者会議・個別ケース会議)を開催し児童虐待防止ネットワークの構築を図ります。	・要保護児童対策地域協議会代表者会議 2回 ・同実務者会議 8回(地区別4回 分野別4回) ・個別ケース検討会議 135回 学習会 1回	子ども家庭支援センター
◎	3 未来 児童虐待防止に向けた啓発の推進	大田区における児童虐待への対応力を高めるため、虐待防止マニュアルを改訂するとともに、啓発活動を推進します。	・児童虐待対応マニュアル作成:3,700部 ・啓発用クリアファイル作成:5,000枚	子ども家庭支援センター
◎	4 未来 初めてのお子さんのパパ・ママ子育て教室	乳児とパパ・ママと一緒に参加する教室を開催し、夫婦の相互理解を深め、家族力の向上を目指します。他の子育て家庭と子育ての悩みを共有することで、子育ての不安解消と仲間作りにつなげていきます。	・子ども家庭支援センター4か所の子育てひろばで実施。 年12回、延べ参加人数109組 327人	子ども家庭支援センター
	5 見守りサポート事業	虐待により、一時保護や施設入所した児童が家庭に戻った時や軽度の虐待と認定されたとき、その家庭に対し、児童相談所の要請により、見守りサポート支援を行います。	・児童相談所からの見守りサポート要請0件 ・児童相談所からの協力依頼9件	子ども家庭支援センター
	6 虐待防止支援訪問	養育困難家庭、養育不安の強い家庭等、子どもの健全な成長が懸念される家庭を訪問し支援します。	訪問数:1,283回	子ども家庭支援センター

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課	
個別目標6-3 障がい児と家庭への支援					
◎	1	未来 相談支援の充実	心身の発達に遅れや偏り、また、その疑いのある乳幼児や子育てについての心配や悩み等の発達相談を実施します。また、18歳未満の児童を対象に、通所サービス等を利用するための「障害児支援利用計画」や「サービス利用計画」の作成を行う計画相談を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月末現在の受給者765人の100%が利用計画を作成(うち、相談支援事業所による作成287人、セルフプランによる作成478人)している。また、セルフプランの作成にあたっては、障害児相談支援事業所だけでなく、区職員による丁寧な対応をしている。 区内の障害児相談支援事業所連絡会を実施(3回、7/8、7/29、8/19)し、障害児相談支援事業所と区が連携して、相談支援の充実や区の発達支援のあり方を検討した。 さぼとびあ、教育センターにおける相談支援の状況等については、発達障がい施策検討会や障害福祉サービス調整会議(月1回)等で情報共有を行った。 	障害福祉課 (わかばの家)
◎	2	未来 早期支援の推進	こども発達センターわかばの家において、発達障がい児及びその疑いのある乳幼児の保護者からの相談を受け、発達状況に応じた支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 単独通所事業(定員36人)、親子通所事業(定員30名)を継続し、委託先法人の専門性とノウハウを活用し、個別の状況に対応した応用な相談支援事業、地域支援事業、外来訓練事業等を行っている。 平成27年度実績は、昨年度実績(相談支援事業延1,090人、地域支援事業延320人、外来訓練事業延6,272人)を上回る実績(相談支援事業延1,268人、地域支援事業延465人、外来訓練事業延8,130人)で推移した。 平成28年3月末現在、区内の民間障害児通所支援事業所数は22か所(昨年度15か所)あり、受給者数は765人(昨年度566人)となっている。 区内の障害児通所支援事業所のサービスの質の向上、及び適切な量の確保のため大田区児童発達支援地域ネットワーク会議(4回、6/4、9/7、12/3、3/9)、事業所向け研修会(2回、1/15、2/24)を開催した。 わかばの家では、施設利用者代表、受託事業者と区が連携・協働を図りながら、事業運営が適正に維持されることを目的として運営委員会を開催(2回、9/18、2/12)するとともに、区と委託先法人との定例の連絡会を実施(月1回)し、事業執行状況の確認、課題の共有化を図っている。 	障害福祉課 (わかばの家)
	3	特別児童扶養手当	身体又は精神に障がいを有する児童について、障がい児の福祉の増進を図るため支援します。	27年度末現在 受給者数 482名	子育て支援課
	4	乳幼児発達健康診査	小児神経専門医による健診・指導を実施します。	受診者数 166人/年	各地域健康課
	5	都の重症心身障がい児対策(訪問事業等)との連携・支援	都の保健師・看護師が訪問し家族とともに日常生活上の看護をし、相談に応じる都の制度に対し、区の保健師が連携をとり、障がい児と家族の支援をします。	在宅重症心身障害児(者)訪問診療事業利用者 19人	各地域健康課
	6	保育所等における障がい児の受け入れの推進	全認可園で保育を必要とする障がい児の受け入れを実施します。	区立保育園 46園 133人 私立保育園 44園 92人	保育サービス課
	7	私立幼稚園特別支援教育事業	特別な支援を要する園児の教育条件の維持、向上のために必要な経費の一部を補助金として交付します。	私立幼稚園32園で実施した。対象となった園児は157人で、前年より13人増加した。	教育総務課(私学行政担当)

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
8	サポートブックかけはし作成講座の開催	継続した支援を受けるには、お子さんの生い立ちや医療・療育・教育の情報を幼児期から整理しておくことが重要です。サポートブックかけはしの普及に努め、作成講座の開催により、本人の発達の様子や得意分野を再認識し、保護者相互の交流の機会を設けます。	・児童館での発達障がいミニ学習会・個別相談会(4回、7/6、9/25、11/16、2/5)と合わせて開催した。 ・保護者が利用しやすいようにエクセル版をホームページに掲載した。 ・「サポートブックかけはし」の普及のため、子育て、教育等の関係機関へ活用方法を周知する機会を持った。(保育園長会、私立幼稚園長会、児童館長会、特別支援教育コーディネーター連絡協議会等)	障害福祉課
9	障害児通所支援事業	児童福祉法に基づく障害児通所支援事業の利用についての相談やサービス利用に必要な給付決定を行い、児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所などの利用を支援します。	・障害児通所支援の給付決定者数は、児童発達支援299人、医療型児童発達支援30人、放課後等デイサービス440人となっている。 ・区内事業所の開設状況をホームページに掲載した。	障害福祉課
10 (再掲)	学童保育室での要支援児の受け入れ	小学校6年生までの支援が必要な児童の受け入れを学童保育室で実施します。	全学童保育施設89箇所ですべて受け入れ体制を整えている。 60施設 154名(平成27年4月1日現在)	子育て支援課
11	大田区心身障害児(者)地域活動支援センター運営支援	心身障がい児(者)を対象としている地域活動支援センターの運営を支援します。	補助施設:2ヶ所 延開所日:474日 延利用者:3,401人	障害福祉課
12	特別支援学級の運営	特別支援学級への介添員の派遣及び教材等整備を行います。	・介添員を配置した。 配置数 小学校54人 中学校25人(述べ) ・学校の要望を聞きとり、必要な教材等の整備を行った。	学務課 指導課
13	特別支援教育実施体制の整備	特別支援教育における教育内容・方法を充実し、小中学校における総合的支援体制を整備します。	校内委員会設置100% 特別支援教育コーディネーター指名100% 特別支援教育関連の教員研修をのべ8回870名の参加	学務課 指導課
14	保育所・児童館・民生委員等との連携	関係機関との情報交換等の連携と子育て支援の充実のため連絡会を実施します。	保育所・児童館・民生委員等、各関係機関と年1回程度連絡会実施。	各地域健康課
15	関係機関との連携強化	関係機関や児童発達支援事業所とネットワークを構築し、発達障がいに関する地域支援力の向上と人材育成・啓発を促進します。	・区内の障害児通所支援事業所のサービスの質の向上、及び適切な量の確保のため大田区児童発達支援地域ネットワーク会議(4回、6/4、9/7、12/3、3/9)、事業所向け研修会(2回、1/15、2/24)を開催した。	障害福祉課 (わかばの家) 子育て支援課
16	発達障がいの理解啓発の促進	発達障がいの理解啓発と地域支援力の向上のため、講演会・シンポジウムの開催、啓発パンフレットの作成・配布を行います。	・発達障がいシンポジウム(12/6 参加者302人)を開催した。 ・児童館での発達障がいミニ学習会・個別相談会(4回、7/6、9/25、11/16、2/5)を開催した。 ・発達障がい啓発用パンフレットを計24,000部、幼児期版(10,500部)、小学生版(5,400部)、中学生・高校生版(5,400部)、一般用(2,700部)の四種を作成した。区施設での窓口配布の他、幼児期版を各地域健康課で実施の三歳児健診で全員配布、小学生版、中学生・高校生版を全区立小中学校のスクールカウンセラーに配布した。	障害福祉課 (わかばの家) 子育て支援課

「おおた子ども・子育てかがやきプラン」 平成27年度の実績

個別施策		取組み内容	平成27年度 具体的な取組みの状況及び実績	関係課
個別目標6-4 外国人家庭への支援				
◎	1 未来 多文化共生推進センター事業 の充実	日本語が不自由な在住外国人が区内で安心安全に暮らせるよう、多文化共生推進センターにおいて、外国人を対象にした日常生活に関する相談や、区立施設への通訳派遣・翻訳を、英語、中国語、タガログ語等の多言語で行います。	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数1,811件 区施設への通訳派遣:204件 翻訳:396件 	国際都市・多文化共生推進課
◎	2 未来 身近な暮らし情報の発信	日本語を母語としない外国人が地域で安心して生活できるよう、必要な地域情報、身近な生活情報などを、より多くの言語やルビ付きのわかりやすい日本語で提供します。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向け多言語情報誌の発行(Ota City Navigationの発行) 発行回数:10回(各4,250部) 	国際都市・多文化共生推進課
◎	3 未来 外国人のための日本語教室の充実	日本語が不自由なため未就学となっている外国人等の子どもに日本語指導を行うことで、就学に結び付けます。	<ul style="list-style-type: none"> 大田区こども日本語教室 蒲田教室:受講生延べ719人 大森教室:受講生延べ173人 	国際都市・多文化共生推進課